

2024年度 院内教育計画（看護実務領域 No2）								
領域	コース	対象	目的	目標	方法	時間		
看護実務における教育	看護過程	レベル I	1. 看護記録の基礎知識を理解する	①看護過程について理解し、看護記録が書くことができる。	講義	60分		
			1. 退院支援に必要な基礎知識が理解できる	①退院支援に必要な情報収集、意思決定支援について理解できる ②退院支援に必要な療養指導、自立支援、社会資源について理解できる	講義	120分		
			1. 看護を振り返り、今後の課題を見出すことが出来る	①事例を通して看護過程の展開ができる	症例発表	60分		
	人間関係	レベル I	1. 自己啓発	①新人同士で、自分の思いや考えを説明できる	GW		120分	
				①お互いの現状を共有することができる ②新人同士で自分の思いや考えを説明できる			70分	
				①グループワークを通してお互いの現状を共有する ②今後の学習・現場での課題を見出す			50分	
	コミュニケーション	レベル II	1. 組織の一員として責任ある行動ができる 2. 看護職としての倫理的態度を身につける	①自分を知ると共にアサーティブコミュニケーション技術を習得する	講義・GW		150分	
				②パートナーシップマインドについて理解する			講義・GW	150分
				③看護者の倫理観を理解する			GW	120分
				④実践の場で看護倫理を考え、行動することができる			発表	60分
	スキンテア	レベル II 以上	1. スキンテアの対応と予防について知識を深めることができる 2. 患者の皮膚の状態に応じた予防ケアや処理を習得できる	①スキンテア予防のためのケアができる ②スキンテア発生時の処置対応が実施できる	講義 演習	60分		
	医療安全 I		1. 急性期病院に必要な報告スキルを習得する	①報告スキルを部署内で実施・指導ができる	講義 演習	90分		
	医療安全 II		1. 事例を通して医療安全を学ぶ	①KYTを行い臨床の場での医療安全につなげる	講義 演習	90分		
救急蘇生	全員	1. 突然の心臓停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生ができる 2. 救急カートからの準備ができ、挿管助助が行うことができる。	①蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる ②BLSを行うことができ、AEDを安全に操作できる ③挿管助助ができる	演習	看護師各75分 看護助手各60分			
モニター	希望者	1. 心電図を理解することで循環器疾患の理解を深める	①疾患別の心電図波形が理解できる ②心電図を通して異常の早期発見ができる	講義	30分			
看護助手	看護助手	1. 介護職員の質の向上 2. 誠意を持って介護にあたる看護補助者を育成する	①看護部組織を理解する ②組織人としてのコミュニケーションを学び、実践に活かすことができる ③蘇生術を学び知識を習得できる ④看護補助業務における医療安全を理解する ⑤看護補助業務における感染対策を理解する	講義 オンデマンド 聴講 演習	60分			